



学園通信

練馬区立大泉学園中学校

校長 杉田 正穂

令和5年4月11日発行

03-3925-4492



心機一転

校長 杉田 正穂

4月7日、春の佳き日に新入生141名の入学を祝し、多くのご来賓、保護者の方々にご臨席賜りまして第62回入学式を挙行することができました。桜の花は新入生が入学するまで、待ち遠しく咲き誇っていましたが、今は新葉も付き始め、中学校生活をスタートさせる新入生にふさわしく草木の若葉が萌えようとしています。

新入生を含め、2年生152名、3年生176名、全生徒469名がそろい、新しい年度がスタートしました。始業式で進級した2、3年生の顔を見て、立派になった印象を受けました。春休みを経て、誰もが前向きに頑張ろうという気持ちが伝わってきます。全クラスの様子をみると、新入生は緊張感をもちながら先生の話の聴いている姿が微笑ましいです。2年生は新しい友人との距離感を測りながら、クラスづくりをしている心の動きがよくわかります。3年生は最上級生となり、頼もしく見えて、進路について真剣に考える1年間になる覚悟が態度に表れています。

新年度を迎え、心配なのが最初からペースを飛ばしすぎて息切れになってしまうことです。まずは、大きな目標をたてたら、目標達成のために小さな目標をたて、ひとつひとつクリアしていくことがよいでしょう。例えば、小さな目標は「毎朝、6時に起きる」「あいさつをする」など生活面でクリアしやすい目標をたて、実行することで自信につながっていきます。このように習慣化させることを「ルーティン」と言いますが、良い習慣はよいリズムとなり、目標に近づいていきます。「4月はスタートが肝心」とよく言われるように、「心機一転」新たな気持ちでスタートさせること、そしてその後が勝負になりますので、継続できる目標をたてて試行錯誤しながら進めてください。

【保護者・地域の皆様へ】

昨年度はいろいろな面で保護者の皆様、地域の皆様にたいへんお世話になりました。本年度も生徒たちが自分で考え判断し、何事にも心をこめて素直に取り組み、努力を惜しまないたくましい人になりますよう、全教職員が一丸となって「親切に、丁寧に、最後まで」を合言葉に教育活動を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

お子様の心と体の変化に伴う言動にどうしたらいいのか悩み、戸惑うことが出てきましたら、ご相談ください。本校の教職員は親身になって相談に応じます。校長にも遠慮なくご相談ください。